

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-230333

(P2003-230333A)

(43) 公開日 平成15年8月19日 (2003.8.19)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

キーワード(参考)

A 01 K 87/08

A 01 K 87/00

6 2 0 D 2 B 0 1 9

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2002-29332(P2002-29332)

(22) 出願日 平成14年2月6日 (2002.2.6)

(71) 出願人 595015214

メガバス株式会社

静岡県浜松市西ヶ崎町1590番地の1

(72) 発明者 伊東 浩一

静岡県浜松市西ヶ崎町1590番地の1

メガバス株式会社内

(74) 代理人 100090273

弁理士 園分 孝悦

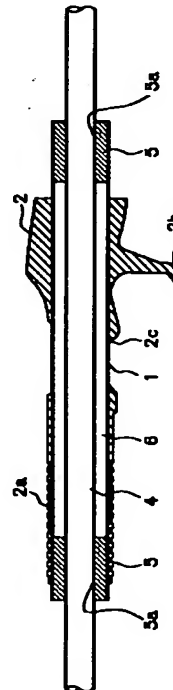
Fターム(参考) 2B019 AA07

(54) 【発明の名称】 釣り竿

(57) 【要約】

【課題】 感度を向上させた釣り竿を提供する。

【解決手段】 パイプ状のフレーム1の外周面には、リールシート2が設けられており、リールシート2の後方にはリアグリップ3が連設される。フレーム1の前端から同軸上にロッド4を挿入すると、フレーム1内でロッド4が支持部材5により二点支持され、フレーム1内には支持部材5間に空間6が形成される。したがって、ルアー側の状態に応じてロッド4が振動すると、ロッド4とフレーム1とが共振して、ロッド4を介して伝達される振動の振幅が増幅されてフレーム1へと伝達されることになり、感度を向上させた釣り竿を提供することができる。



Best Available Copy

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パイプ状のフレームと、
上記フレームの外周面に設けられるリールシートと、
上記リールシート後方に連設されるグリップと、
上記フレームに同軸上に挿入されるロッドと、
上記フレーム内で上記ロッドを少なくとも二点以上で支持する2以上の支持部材とを備え、
上記フレーム内には上記2以上の支持部材間に空間が形成されることを特徴とする釣り竿。

【請求項2】 上記リールシートの一部で上記フレーム 10
を外部に露出させたことを特徴とする請求項1に記載の釣り竿。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、主としてルアーフィッシングに使用される釣り竿に関する。

【0002】

【従来の技術】ルアーフィッシングは、ルアーをリトリープ（引く）してアクションさせることで、ルアーを小魚等の餌に見せて誘う釣りである。そして、単にリトリープさせるだけではなく、ルアーを一瞬止めたり、ルアーの深度を変えたり、ルアーを跳ねるように動かしたり等の複雑なルアーアクションを組み合わせて魚を誘う。

【0003】また、釣り竿を持つ手、指先に神経を集中させてアタリを感じとり、魚がルアーに食いついたならば、リールを巻きつつ釣り竿を動かして、ルアーが魚の口にしっかりとフッキングするようアワセを行う。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記のようにルアーフィッシングではルアー側の各種状態に応じて釣り竿を操作しなければならず、感度に優れていることが要求される。

【0005】本発明は上記のような点に鑑みてなされたものであり、感度を向上させた釣り竿を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の釣り竿は、パイプ状のフレームと、上記フレームの外周面に設けられるリールシートと、上記リールシート後方に連設されるグリップと、上記フレームに同軸上に挿入されるロッド 40
と、上記フレーム内で上記ロッドを少なくとも二点以上で支持する2以上の支持部材とを備え、上記フレーム内には上記2以上の支持部材間に空間が形成される点に特徴を有する。

【0007】また、本発明の釣り竿の他の特徴とするところは、上記リールシートの一部で上記フレームを外部に露出させた点にある。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、本発明の釣り竿の好適な実施の形態について説明する。

【0009】（第1の実施の形態）図1、2に示すように、パイプ状のフレーム1の外周面にはリールシート2が設けられている。リールシート2は図示しないリールを取り付けるためのものであり、その素材としてはガラス混合樹脂等が用いられる。リールシート2の前端外周面には図示しないリール固定用フードを螺着するためのネジ部2aが形成されている。図1に示すリールシート2は、人差し指を掛けるためのトリガーハンドル2bが一体形成されたタイプである。

【0010】リールシート2後方にはリアグリップ3が連設される。リアグリップ3はユーザが握る部分であり、その材質としてコルクやEVAゴム等が用いられる。なお、フレーム1の長さとして、図1、2ではリールシート2後端までの長さとして示されているが、リアグリップ3側まで伸延するものを用いてもかまわない。

【0011】上記フレーム1前端からは同軸上にロッド4（ブランクス）が挿入される。ここで、図2に示すように、フレーム1内には、ロッド4を支持するための2つの支持部材5が距離をおいて配置されてそれぞれ固定されている。各支持部材5はロッド4の外径と略同径の内径5aとを有し、その内径5a部分でロッド4を支持する。

【0012】このようにした釣り竿では、フレーム1に同軸上にロッド4を挿入すると、フレーム1内でロッド4が支持部材5により二点支持され、フレーム1内には支持部材5間に空間6が形成される。したがって、軽量化が図られるとともに、ルアー側の状態に応じてロッド4が振動すると、ロッド4とフレーム1とが共振して、ロッド4を介して伝達される振動の振幅が増幅されてフレーム1へと伝達されることになり、感度を向上させた釣り竿を提供することができる。

【0013】なお、パイプ状のフレーム1の断面形状は、真円だけでなく、楕円や、三角形、四角形、五角形等の多角形としてもよく、支持部材5の外形もフレーム1の形状に合わせればよい。

【0014】また、フレーム1の素材としては、例えば、カーボン、ケブラー、樹脂、金属（鉄、アルミニウム、チタン、ジュラルミン等）が挙げられる。同様に、支持部材5の素材としても、カーボン、ケブラー、樹脂、金属（鉄、アルミニウム、チタン、ジュラルミン等）が挙げられる。

【0015】また、上記実施の形態では2つの支持部材5によりロッド4を二点支持する構成例を説明したが、フレームの長さや所望の共振効果に応じて、支持部材5の数を増やして三点支持、四点支持等する構成としてもよい。

【0016】（第2の実施の形態）図3には、第2の実施の形態の釣り竿の外観を示す。第2の実施の形態の釣り竿はリールシート4の形状を変更したものであり、以下では上記第1の実施の形態で述べた構成要素と同一の

ものには同一の符号を付し、その詳細な説明は省略する。

【0017】第2の実施の形態の釣り竿でも、外観のみ図示するが、上記第1の実施の形態で図2を参照して説明したように、フレーム1に同軸上にロッド4を挿入すると、フレーム1内でロッド4が支持部材5により二点支持され、フレーム1内には支持部材5間に空間6が形成される。したがって、軽量化が図られるとともに、ルアー側の状態に応じてロッド4が振動すると、ロッド4とフレーム1とが共振して、ロッド4を介して伝達される振動の振幅が増幅されてフレーム1へと伝達されることになり、感度を向上させた釣り竿を提供することができる。

【0018】また、図3に示す釣り竿では、リールシート2の一部、ここではトリガーハンドル2bの前側に沿って孔2cが形成されており、フレーム1が外部に露出する。このように人差し指が触れる部分でフレーム1を外部に露出させることで、フレーム1から直接に増幅された振動がユーザに伝えられるので、更に感度を向上させることができる。

【0019】(第3の実施の形態)図4、5には、第3の実施の形態の釣り竿の外観を示す。第3の実施の形態の釣り竿はリールシート4の形状を変更したものであり、以下では上記第1の実施の形態で述べた構成要素と同一のものには同一の符号を付し、その詳細な説明は省略する。

【0020】第3の実施の形態の釣り竿でも、図5に示すように、フレーム1前端から同軸上にロッド4(ブランク)が挿入される。フレーム1内には、ロッド4を支持するための2つの支持部材5が距離をおいて配置されている。各支持部材5はロッド4の外径と略同径の内径5aとを有し、その内径5a部分でロッド4を支持する。

【0021】フレーム1に同軸上にロッド4を挿入すると、フレーム1内でロッド4が支持部材5により二点支持され、フレーム1内には支持部材5間に空間6が形成される。したがって、軽量化が図られるとともに、ルアー側の状態に応じてロッド4が振動すると、ロッド4とフレーム1とが共振して、ロッド4を介して伝達される振動の振幅が増幅されてフレーム1へと伝達されることになり、感度を向上させた釣り竿を提供することができる。

【0022】また、図4、5に示す釣り竿では、リールシート2の一部、ここではトリガーハンドル2bの前方に孔2cが形成されており、フレーム1が外部に露出するようにされている。このように人差し指が触れる部分でフレーム1を外部に露出させることで、フレーム1から直接に増幅された振動がユーザに伝えられるので、更に感度を向上させることができる。

【0023】なお、上記実施の形態において示した各部の形状及び構造は、何れも本発明を実施するにあたっての具体化のほんの一例を示したものに過ぎず、これらによって本発明の技術的範囲が限定的に解釈されてはならないものである。すなわち、本発明はその精神、又はその主要な特徴から逸脱することなく、様々な形で実施することができる。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、フレーム内には支持部材間に空間が形成されるので、ロッドを介して伝達される振動の振幅が増幅されてフレームへと伝達されることになり、感度を向上させた釣り竿を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態の釣り竿の一部側面図である。

【図2】フレーム1とロッド4と支持部材5との位置関係を説明するための図である。

【図3】第2の実施の形態の釣り竿の一部側面図である。

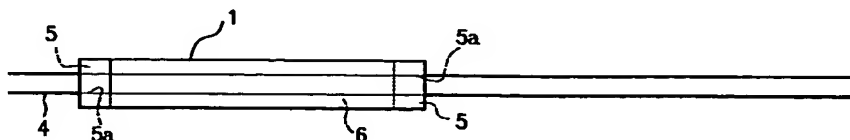
【図4】第3の実施の形態の釣り竿の一部側面図である。

【図5】第3の実施の形態の釣り竿の一部側面断面図である。

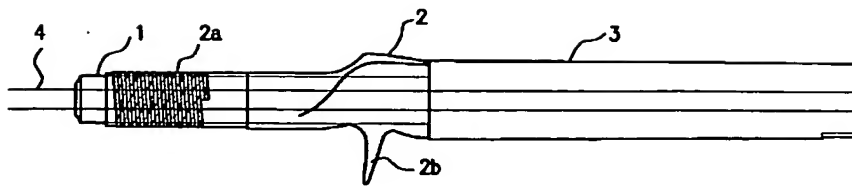
【符号の説明】

- 1 フレーム
- 2 リールシート
- 2a ネジ部
- 2b トリガーハンドル
- 2c 孔
- 3 リアグリップ
- 4 ロッド
- 5 支持部材
- 6 空間

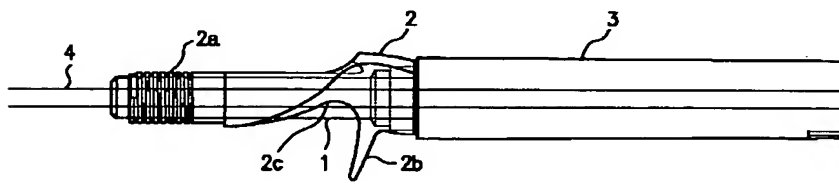
【図2】



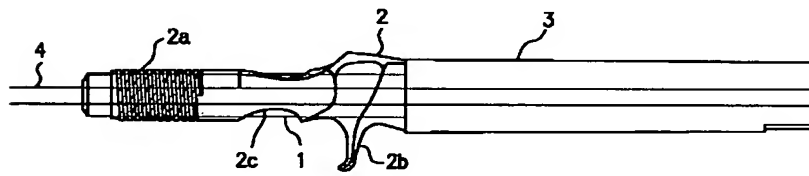
【図1】



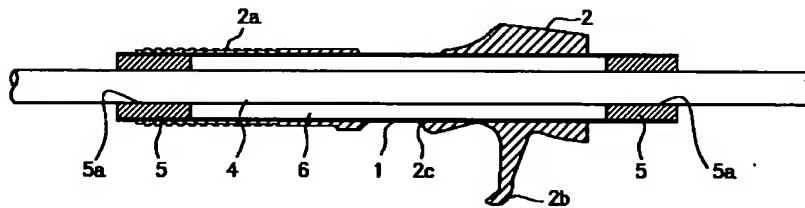
【図3】



【図4】



【図5】



DERWENT-ACC-NO: 2003-622456

DERWENT-WEEK: 200359

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fishing rod used for lure fishing,
has space formed between supporting members which
support rod within frame

PATENT-ASSIGNEE: MEGABUS KK[MEGAN]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0029332 (February 6, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC
JP 2003230333 A		August 19, 2003	N/A
004	A01K 087/08		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2003230333A	N/A	
2002JP-0029332	February 6, 2002	

INT-CL (IPC): A01K087/08

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003230333A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A space (6) is formed between the supporting members (5) that support a rod (4) within a frame (1). The rod is coaxially inserted in the frame. A rear grip is arranged in a row at the back of a reel sheet (2) provided at the peripheral surface of the frame.

USE - Used for lure fishing.

ADVANTAGE - Improves amplitude of the vibration transmitted via rod to frame,

thus improving sensitivity of rod.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the partial
side sectional drawing
of the fishing rod.

Frame 1

Reel sheet 2

Rod 4

Supporting members 5

Space 6

CHOSEN-DRAWING: Dwg.5/5

TITLE-TERMS: FISH ROD LURE FISH SPACE FORMING SUPPORT
MEMBER SUPPORT ROD FRAME

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-495967

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.